

(津島)工学部実験研究棟 新営

■ 本事業は、老朽化が著しい平屋建て5棟（経年最長110年）の工学部施設を1棟に集約化し、維持管理費の縮減及び跡地の有効活用を推進する改築事業である。本事業により、最新の研究内容に対応できるようフレキシブルな内装、電気容量や情報インフラの整備等を実施した。また、改築後の面積を20%削減し、施設の総量の適正化を図りつつ、新たに全学共通スペースを創出した。分散した既存施設の集約化により普段出会わない研究者同士の交流や研究実験の可視化により日常的な知的交流を促進する。

- 工事場所：岡山市北区津島中三丁目
- 延面積：1,344㎡
- 建築面積：1,157㎡
- 構造・階数：鉄骨造 地上2階建
- 省エネ性能：ZEB Oriented 文科省基準
- 設計：岡山大学施設企画部
(建築) (株) 総合企画設計
(設備) (株) 総合設備コンサルタント
- 施工：(建築) (株) 重藤組
(電気) JFEプラントエンジニアリング(株)
(機械) 東洋熱工業(株)
- 工期：令和4年8月～令和5年4月



■ 外観 (南西面)



■ 外観 (中庭)



■ 内観 (伝熱工学実験室)



■ 内観 (応用化学共創ワーキングスペース)



■ 内観 (流体実験室)



■ 内観 (全学共通スペース)

